

— 行政と市民の良きパートナー —
日進コンサルタント 株式会社

所在地：大分県中津市大字万田602-2
 TEL：0979-24-5436
 FAX：0979-22-3448
 URL：http://www.e-nissin.co.jp
 E-mail：info@e-nissin.co.jp
 設立：昭和46年11月
 代表者：代表取締役 井上 諄
 従業員：45名



本社社屋



地熱帯砂防施設計画（大分県バンフより）



ブロックダム



河川災害復旧



平成24年 九州北部豪雨による山国川の氾濫



特有の溪谷美（青の洞門）



平成17年 梅雨前線豪雨による地熱帯の土石流災害



平成3年 台風19号による風倒木被害（大分県バンフより）



平成5年 風倒木による流木災害



矢形処川砂防えん堤・溪流保全工（大分県中津土木事務所）



UAS（無人航空機システム）

経営理念

当社は、大分県中津市に於いて昭和46年に日進測量設計株式会社として創業いたしました。平成8年に社名を日進コンサルタント株式会社に変更し、創業以来44年間、大分県と県内の市町村を中心に業務を展開しています。

企業理念として「自然と人間の係わり合いに調和をとり、最適な生活環境を創造するための計画を提供することを業とする」「健全経営のもと企業使命を自覚し、徳を養い技を磨き、和して職責を完遂すること」を念頭に、6つの人間力「なくてはならぬ人・事に当たれる人・確実に進む人・成して喜ぶ人・笑顔で話す人・努力惜しまぬ人」を社訓に掲げ、社業の発展、人材の育成、計画的投資に取り組んでいます。

この人間力を礎として、人々の多様な価値観に応え、安全・安心、快適で持続可能な社会の構築のため、行政のパートナーとして総合的なコンサルティングと幅広いマネジメントサービスを提供しています。

お任せください、ここが得意です。

大分県は県土の約70%を林野が占めており、阿蘇、九重火山地域を中心とする火山地帯でもあります。また、県内に4つの1級河川が流れており、特有の溪谷美をつくっており、変化に富んだ地形となっています。

近年、大分県においても、台風やゲリラ豪雨による大災害が発生しています。平成3年（台風19号）、平成5年（台風13号）のいわゆる風倒木災害、近年では平成17年の梅雨前線豪雨（玖珠地方）、平成24年の九州北部豪雨による洪水被害が記憶に新しく、その被害は甚大なものでした。

平成24年災害では、被災した緊急輸送路である国道212号の早期交通解放のため、いち早く現地状況をつぶさに把握し、必要な調査計画と共に、本復旧計画に加え仮復旧工法を提案し、被災1ヶ月後の開通を実現しました。また、河川災害においては、被災時の流出状況を再現し、氾濫シミュレーション技術を駆使し、河川生態系に配慮しつつ再度災害防止のため、整備効果の早期発見、工期短縮、トータルコストの面で優れた河道

計画を策定しました。

このほか、災害関連緊急砂防事業では砂防えん堤20基余りの実績を有しており、特に地熱帯など高温、強酸性土壌、火山性ガス、プロピライトといった厳しい環境条件下における砂防施設計画は当社のノウハウとなっています。土石流危険渓流における砂防えん堤の設計基数は60以上に及びます。砂防分野に関してはハード施策だけでなく、「大分県砂防技術基準」の改訂や土砂災害防止法運用方針の検討業務のほか、砂防基礎調査等のソフト施策にも技術を提供しています。

技術の将来ビジョン

当社は「UAS（無人航空機システム）」を導入した調査・設計に取り組んでいます。航空写真により3Dデータを取得することで、2D図面の作成はもちろんのこと、緊急を要する災害業務などの地形状況の把握等に活用しています。今後は国土交通省が施行している「CIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）」の取り組みを強化し、生産性向上、品質確保、維持管理の

面でも貢献したいと考えています。

また、近年多発している水害・土砂災害から人命および財産を守るため、行政のエージェントとして引き続き、IT技術を活用した情報共有ソリューションを提供し、警戒避難体制確立の一助となるよう、研究開発に邁進しています。

未来に向けて

「日進月歩」する技術革新を人の幸せに役立てるためには、建設技術を理解し応用するという技術者本来の資質・器量・感性・見識や創造力をもって、環境・地域・景観等へ総合的に取り組むことが必要と認識しています。そのうえで、地域のリーディングカンパニーとして新技術をいち早く取り入れ、客先の悩みや市民の要望に誠心誠意取り組むことにより、「行政」と「市民」を取り持つ「人と人をつなぐ存在」となる企業を目指しています。

（文：総務・営業本部長 井河隆浩）